

政策課題5-2 地域間の交流・連携の促進

- ・中小都市と農山漁村等の地域を、地域内外の交流・連携を進め、創造的な相互補完関係をもち、都市的サービスとゆとりある居住環境、豊かな自然を併せて享受できる、地域の自立の基礎を形成する圏域（多自然居住地域）として創造する。
- ・市町村等地域が軸状に連携する地域連携軸など、広域にわたる地域連携のまとまりの形成による活力ある自立的な地域づくりを促進する。
- ・全国の各地域が東京等大都市に依存しない自立的な国際交流活動が可能となるよう、国土に複数の地域的まとまりからなる広域的な国際交流圏を形成。
- ・「全国1日交通圏」の一環として、半日での地域間での往復や余裕を持った日帰り活動を可能とする、「地域半日交通圏」の形成を推進する。

○ 地域内外の交流・連携の促進

* 高規格幹線道路に1時間以内で到達可能なエリアを全国の約9割に

整備指標例	現況値 (測定年次)	長期的目標値 (目標年次)
・高規格幹線道路面積 カバー率(再掲)	74% (平成12年度末)	約90% (21世紀初頭)

注1) 面積カバー率：高規格幹線道路に1時間以内で到達可能なエリアの割合

(参考1)

以下の整備指標については、今年度末の『21世紀国土交通のグランドデザイン＜2001年度版（仮称）＞』での公表に向けて検討する。

政策課題別整備指標

政策課題	整備指標
(1-2)	都市空間形成河川整備指標
(1-2)	都市における公園・緑地の確保量
(1-3)	鉄軌道駅、旅客船ターミナル、バスターミナル、空港ターミナルのバリアフリー化率
(1-3)	旅客船・航空機のバリアフリー化率
(1-4)	河川水質
(1-4)	河川の流量不足解消指数
(3-1)	堤防整備率
(3-1)	床上浸水常襲地区内家屋数発生率
(3-2)	事業用自動車の運行管理に起因する事故割合
(3-2)	車両対車両衝突時の乗員死亡率
(4-3)	閉鎖性水域での海洋汚染源解明実績数
(4-3)	合流式下水道改善率
(4-3)	河川における人工的な水際率
(4-3)	都市空間形成河川整備指標（再掲）